発行者
弥生会広報部会
事務局
〒740-0012
山口県岩国市
元町１丁目
１番17号201
☎0827(30)5677
FAX0827(30)6577
http://iwakuni-yayoi.jimdo.com

季刊 やよい

弥生会

岩国大竹道路
早期実現を目指して
岩国の明るい未来を創る会会長 原田俊一

■弥生会の活躍を讃え、今後も期待する

平成十九年四月、シンフォニア岩国の多目的ホールに約二百五十人の有志が集まり、「岩国の未来を拓く会」を立ち上げました。

未来を拓く会は、岩国市の財政再建と愛宕山開発地への国立病院機構・岩国センターの移転を推進することを掲げ、署名運動を開始し、当時の井原勝介市長に三万三千人の名簿を添えて要望しました。

しかし、この要望が取り上げられることはなく、有志は同年八月、「岩国の明るい未来を創る会」を設立し、岩国市の現実を理解し、着実に明るい未来を創る市長の誕生を期して活動を行い、平成二十年二月に福田良彦市長を誕生させました。

市民が結束し、信念を持って事にあれば、思いが叶うことを立証する画期的な成果でした。

さらに、多額の赤字を抱えて行き詰まっている「愛宕山開発用地」を国に買い上げていただくよう、五万二千人の署名を募り、平成二十一年八月、国・県に要望しました。

その結果、愛宕山開発用地は平成二十四年三月、四分の三を国が買い上げ、その土地の半分には岩国市民が使用できるスポーツ施設と文化交流施設が計画されています。愛宕山にスポーツを楽しむ老若の市民の歓声が響き、文化的交流が活性化することが期待できます。

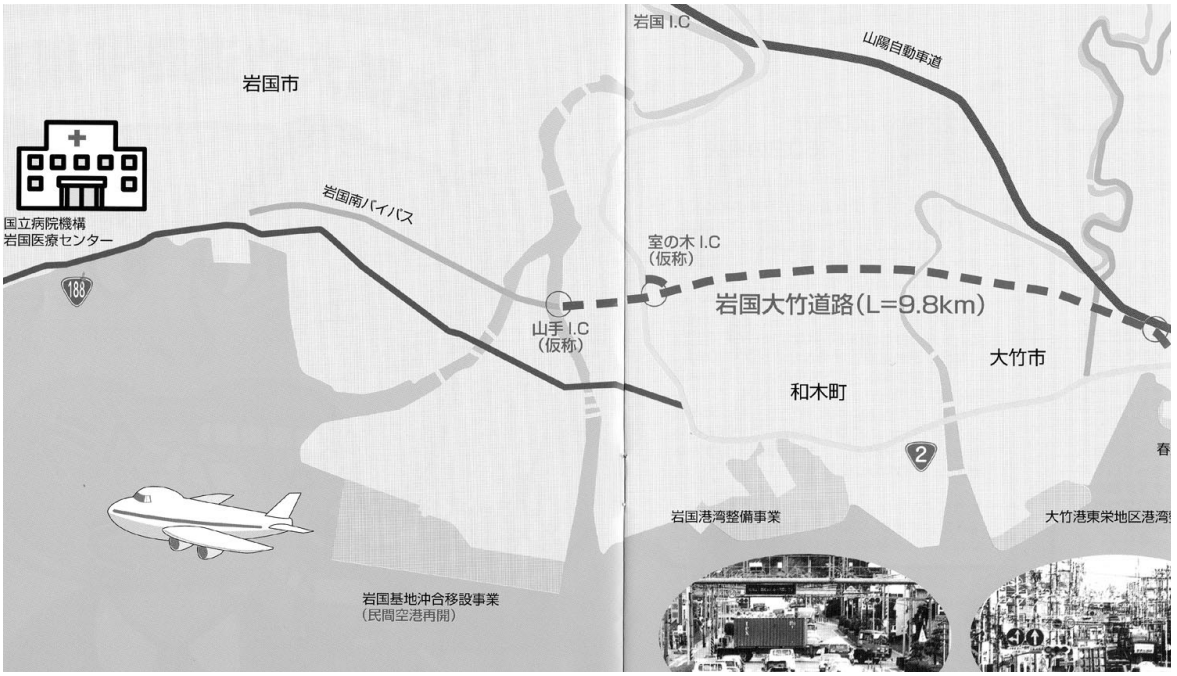
残り四分の一を岩国市が取得し、その一角に国立病院機構・岩国センターが移転・開院したのでした。このように岩国の明るい未来創りを目指し、とりわけ「弥生会」は、積極的に取り組み、大きな原動力の役目を果たされました。

弥生会は、その後も「市政懇話会」を市全域に出かけて開催するなど、活発な活動と実績を重ねられ、今日に在ることは、素晴らしいことであります。

■岩国市が抱える喫緊の問題

今岩国市が抱えている問題の一つに道路の問題があります。特に国道2号線の装束・新港地域の交通渋滞と事故対策は喫緊の問題であります。

この問題を解決するために「国道2号岩国・大竹道路」の開設が計画され、その用地買収は84％と進捗しています。（2面に続く）



花びらが地に降るように五秒間病の告知はさらりと降りぬ

会長　二宮信子

第四十四回岩国市民短歌大会で市長賞を受けた作品。

癌の告知という、かなり重い言葉を聞きながら、さらりと受けとめている自分に驚いた。

その時の気持ちをそのまま歌にしているように、その後の闘病中も主治医の治療方針に素直に従って健康をとりもどせた。

市長賞の受賞と言うことで多くの方々に目にしていただけて嬉しい。

想定外のことは誰にも起こることなので、私と同じ境遇にある方々に明るく前向きな気持ちになっていただければ、と心から願っている。

◇　◇

二宮会長は、岩国短歌協会主催の第40回岩国市民短歌大会で岩国市長賞（選者選の部）に選ばれました。

また、長年にわたって文化振興や文化団体の育成などに多大な功績があったとして岩国市文化功労賞を受賞されました。

（弥生会広報委員会）